| 資　料　提　供 | |
|---|---|
| 平成３１年２月５日 | |
| 担当課<br>（担当者） | 県立博物館<br>（酒井） |
| 電　話 | ０８５７－２６－８０４４ |

# 歴史講座「炉から見る鳥取の縄文遺跡」を開催します

１　趣旨

縄文時代は、竪穴住居（たてあなじゅうきょ）などの居住施設を含む集落を営み始める時代です。それまで狩猟採集による遊動生活をしていた人々が、ある程度土地に定着的な生活を始めることを示しています。縄文時代中期末以降、石組みで炉を作る「石囲炉（いしがこいろ）」は、西日本各地に広まりましたが石囲炉の内部に土器を埋設する「石囲埋甕炉（いしがこいまいようろ）」は、広く普及しませんでした。

今回の講座では、鳥取県智頭町に所在する智頭枕田（ちずまくらだ）遺跡（いせき）の石囲埋甕炉を改めて分析する機会を得て、その形態的特徴などを、鳥取県および周辺地域の比較検討とともにご紹介します。

ぜひ広く広報いただくとともに、当日も取材いただくようお願いいたします。

２　主催　鳥取県立博物館

３　日時　平成３１年２月１０日（日）　午後２時から午後３時３０分

４　会場　鳥取県立博物館　２階会議室

５　講師　当館職員

６　定員　２０名程度（先着順）

７　申し込み　不要

８　聴講料　無料

９　問い合わせ先

鳥取県立博物館　学芸課　人文担当

電　話　０８５７－２６－８０４４

ファクシミリ　０８５７－２６－８０４１

１０　その他

とっとり県民カレッジ連携講座

（上）智頭枕田遺跡　竪穴住居跡 SI-1（旧）の石囲埋甕炉

（下）竪穴住居跡 SI-1（旧）全景（赤矢印：石囲埋甕炉）

（写真提供：智頭町教育委員会）